

令和 5 年度事業計画

当倶楽部は、高齢者の健康増進と地域との連携強化を図るため、会員相互の親睦融和を図るとともに、会員自らの手で生き甲斐の場を作ってゆくことを理念としています。そのために会員の親睦を図った全体活動の開催と、楽しく魅力的な同好会活動を積極的に展開して、これらを会員全員が地域に発信してゆくことを心掛けています。

しかし今年度も新型コロナウイルス感染症が完全には閉塞しない虞（おそれ）が考えられるため、まずは高齢者の感染防止を第一に考えたうえで、全体活動のうち三密の虞のある活動は残念ながら休止とします。しかしその危険性が低く、まず安全と考えられる事業については、実施方法を工夫して、会員のご意見を聞いた上で、例年の実行計画を参考に積極的に開催することにいたします。また同好会活動のうち屋外が主体になる活動や三密の危険性の低いと考えられる屋内活動については、十分な感染対策を取ったうえで積極的に実施してゆくことにいたします。

1. 全体活動

① 「桂坂山の手倶楽部創立 30 周年記念事業」

感染症蔓延の為 2 年間開催を延期していた記念事業を本年度に計画、実施します。ポイントは

①記念式典を極力簡素化して総会と同日に開催し、式典後の祝賀会は省略します。代わりに全会員に記念品を配布することにします。②京都市の認可のもと自治連合会の協力を得て桂坂緑道主要樹木に名札を付ける事業に取り組みます。③同好会の紹介や桂坂の魅力などを編集した記念誌を発行します。

② 「親睦融和活動」

春の定期総会は本会の最重要決議機関であるため、感染対策を取りながら集会方式で実施しますが、総会後の「親睦会」は飛沫感染リスクが大きい為休止します。ただ、人気のある「うたごえキッサ」（又は「クッキーズコンサート」）「山の手芸能祭」「古の映画祭」などは感染状況の推移を見たうえで、実施方法を工夫して開催できないかを決めます。

③ 「趣味の作品展」

当倶楽部の伝統的な事業である為、昨年と同じく自治連合会主催の「桂坂オータムフェスタ」の中で実施の予定です。

④ 「広報活動」

広報紙は年 4 回発行することを目標とし、当倶楽部の活動を会員はもとより広く桂坂の住民に知っていただくよう全自治会員へ回覧し、さらに「趣味の作品展」「野鳥園」での配付など配付方法を工夫してゆきます。また感染対策のため全体活動が縮小する中で、会員間の連絡ツールとして活用されるよう配慮します。

⑤ 「地域との連携強化活動」

小学校の父兄や先生方から感謝されてきた「子供見守り隊による朝の声掛け活動」は従来通り実施し、その他の自治連合会事業への協力、桂坂小学校及び PTA 行事への支援、桂坂野鳥園のもみじ祭、北沓掛第 5 公園愛護協力会への支援など、主催者側からの支援要請があり、我々の安全性が確認されれば、積極的に協力します。

2. 同好会活動

コロナ感染症により活動が制約されますが、より魅力的で楽しい会として活動するために、会則を一部改訂し、年齢制限をはずすことにしました。それにより新しい会員を積極的に勧誘出来るよう責任者はもとよりメンバー全員が努力してゆきたいと考えます。